

2023 年 7 月のパナマ内政及び外交につき、以下のとおり報告する。

1 内政

(1) 2024 年選挙

ア 世論調査

ラ・エストレージャ紙に掲載された Gismo Services 社による世論調査によれば、今選挙が行われた場合に投票する候補は以下のとおり。

(ア) マルティネリ元大統領：29% ※世論調査で 30%以下は初めて

(イ) カリソ副大統領：28%

(ウ) ルークス CD 党党首：13%

イ 党内予備選挙等

(ア) CD 党

9 日に実施された党内予備選挙において、アブレゴ副党首の 45%得票に対しルークス党首が 53%得票し当選。同党首は、ボカス・デル・トロ、コクレ、チリキ、エレーラ、ロス・サントス、パナマ、ベラグアス、クナ・ヤラ、Naso Tjer Di 地区で勝利。ルークス党首は、PRD 党及び RM 党とは政党連合を組まない旨、またアブレゴ副党首を CD 党議員候補として出馬させないことを明言勝利。

(イ) パナメニスタ党

23 日党内予備選挙を実施。党员 25 万 3,308 人中 11 万 2,127 人が投票、うち 45%を得票しブランドン党首が大統領候補に当選。

(ウ) PAIS 党

29 日、PAIS 党大統領候補としてアルバレス党首が選出。

(エ) MOCA 党

29 日、MOCA 党大統領候補としてロンバナ党首が選出。

(エ) 無所属候補

大統領選挙に出馬するのは最も署名を獲得した、スライ・ロドリゲス PRD 党議員、マリベル・ゴルドン候補、メリトン・アローチャ氏の 3 名。

ウ マルティネリ元大統領の出馬

マルティネリ元大統領は、大統領候補と同時に国会議員候補としても出馬することを発表

(2) 国会

ア コルティソ大統領の国会最終期演説

1 日、コルティソ大統領は、国会開会式において演説。要旨は以下のとおり。

(ア) パナマが直面する、国民の福祉に関わる二つの課題（社会保険システム問題及びミネラ・パナマ社問題）を乗り越えるため、確固たる遠大な決断が必要であることを強調

(イ) これまでの前政権が放棄してきた、貧困及び極度の貧困の減少、経済成長、失業率の

低下、並びに病院、学校及び浄水場等の工事再開を現政権が達成したことを強調

(ウ) 現政権功績の例として、学校のインターネット普及率 65%の達成、GAFI アクション・プランの遂行、透明性確保及び汚職撲滅対策、パンデミックに対するパナマの勝利を強調
イ 国会執行部選挙

(ア) 71 議員中、PRD 党、MOLIRENA 党及び CD 党所属の 51 議員の投票を受け、ハイメ・バルガス PRD 党議員が国会議長に選出。

(イ) 第一副議長にリカルド・トーレス PRD 議員 (50 票獲得)、第二副議長にコリナ・カノ MOLIRENA 党議員 (第二副議長) を選出。

(ウ) CD 党の 18 議員のうち、15 名はマルティネリ元大統領を支持するアブレゴ副党首派、3 名はルークス党首派 (反マルティネリ派)。これら 15 名の議員は 2021 年及び 2022 年の国会諸表選挙において CD 党国会議長候補を支持せず PRD 党候補を支持。しかし今回の選挙ではヘネシス・アラホナ議員 (アブレゴ副党首派) がロニー・アラウス CD 国会議長候補に投票。ヘネシス・アラホナ議員自身も第二副議長候補として立候補する票は 4 票のみで落選。

(エ) パナメニスタ党議員は、候補を擁立せず投票を棄権。

ウ カリソ副大統領に対するインタビュー

ラ・エストレージャ紙に掲載されたカリソ副大統領 (PRD 大統領候補) に対するインタビュー概要 (選挙公約等) は以下のとおり。

(ア) 憲法改正：三権分立を目的として改正する。コルティソ大統領の政策の継続。

(イ) 地方分権：厳格な判断基準の下、分配された予算を有効活用しなかった自治体は処分の対象とする。

(ウ) 農業政策：肥料 (特に尿素) 生産者のパナマへの誘致と販売を促進し、非伝統的産物の栽培、カカオ栽培の救済及び水牛育成を促進。

(エ) 年金：対話により至った合意内容を遵守。

(オ) 雇用創出：パンデミック中に失業し起業した中流階級の人々が会社を設立できるよう支援。政府支出を促進し雇用を創出し、農業開発政策をとることで農村部から都市部への人口流出を予防。

エ ブルーアップル裁判

7 日、マルティネリ元大統領の子息二人に対するマネロン疑惑にかかる裁判が弁護人の要求により延期。代替日程である 8 月 22 日～9 月 11 日に開廷予定。

オ ニュービジネス裁判

19 日、マルキネス裁判官はマルティネリ元大統領に対してマネロンの罪で 10 年 8 か月の禁固刑及び 1902 万ドルの罰金を科した。弁護側は控訴。

カ 閣僚の交代

(ア) 26 日、コルティソ大統領はエスキルセン観光庁長官を解任しスニガ氏を新長官に任命。アルグエジェス教育次官を解任しカスティジェロ氏を同次官に任命。

(イ) 27 日、トリホス水産資源庁長官が辞任。新長官にはジャレリス・マルティネス氏が

就任。

2 外交

(1) 二国間外交

ア 中国人民対外友好協会の林松添 (Lin Songtian) 会長がパナマ含むラ米を初めて訪問。ロヨ運河担当大臣、ファブレガ・パナマ市長、オテロ外務次官 (マルチ担当) と会談した他、ミラフローレス閘門及びコロン・フリーゾーンを視察。中国からパナマへの投資促進を約束。

イ 5 日、ハン韓国首相がパナマを訪問し、コルティソ大統領、フランコ外大臣代行と会談。パナマ運河、メトロ 3 号線建設現場等を視察。コルティソ大統領は会談において、韓国がパナマ運河の第二位の利用国であることを強調。パナマには 20 の韓国企業が所在し、中米・韓国間の FTA の発効により経済関係強化が期待されると述べた。同首相はアルメンゴール経済財務次官とも会談し、パナマにおける官民合同事業への投資に関心を示した。

ウ 6 日、参議院の北村経夫議員、大野泰正議員、生稲晃子議員、堀井巖議員がパナマに来訪しフランコ外務大臣代行、ロペス・パナマ日本友好議員連盟会長と会談し二国間の友好関係を確認。

エ 10 日、テワニー外相は米国上院議員の訪問を受け、治安や移民問題、犯罪組織対策につき協議。

オ 米国政府は、バレーラ元大統領の汚職事件関与を踏まえ、同元大統領及び親族の米国入国を禁止。

(2) マルチ外交

ア 国際海事機関 (IMO) 事務局長に、パナマ候補のドミンゲス氏が当選。同分野で 25 年以上の経験を有する。

イ カリソ副大統領とテワニー外相はベルギーで開催された第 3 回 EU-CELAC 首脳会合に出席。テワニー外相はベルギーのハジャ・ラビブ外相と会談。カリソ副大統領はパナマの金融分野での 15 の取り組みをアピールし、GAFI グレーリストからの除去を要求。(了)